

医科大2013年設立へ

国際医療NGO「AMDA」（本部・岡山市）が、ネパールに「AMDA国際医科大学」を作る計画を進めている。プロジェクトを近く発足、2013年の設立を目指す。妊産婦や小児医療の充実を図るほか、卒業生を同国の無医地区に派遣。国際医療救援活動への参加も義務付け、医師養成と同時に海外での救援活動を充実させたい考えだ。

【石川諭】

AMDA 25周年

AMDAが今年、設立25周年を迎えることから計画

に加え、国際協力機関からの融資を検討している。

した。同国のトリフバン大教授らで構成するネパール支部も正式に医科大構想を決議。今月15日、カトマンズで、AMDAグループの

同子ども病院を医科大の付属病院とする構想もあるという。子ども病院は、阪

に将来は近隣地区での災害支援に備えるなど、AMDAの主要な拠点としたいと話している。

菅波茂代表とレグミ支部長がラム・バラシ・ヤダブ大統領を訪問。医科大設立構想を伝えたところ、大統領は

「AMDAの実績はよく知っている。ぜひやって、引き続きネパールの人々を助けてほしい」と心じたという。

菅波代表は「国内の大学にも協力を求め、平均寿命が世界トップクラスの日本の医療体制を導入したい。将来は近隣地区での災害支援に備えるなど、AMDAの主要な拠点としたい」と話している。

「AMDAの実績はよく知っている。ぜひやって、引き続きネパールの人々を助けてほしい」と心じたという。

同支部は現在、「AMDA子ども病院」があるブトワル市、カトマンズなどの候補地から建設地の選定中。設立には2億円程度が必要で、菅波代表はAMDAの資金と国内外での募金

神大震災でネパールから支援を受けたお返しにと、AMDAや毎日新聞などがキャンペーンに取り組み、98年に開設された。既に2万人を超える赤ちゃんがここで生まれている。

同支部は現在、「AMDA子ども病院」があるブトワル市、カトマンズなどの候補地から建設地の選定中。設立には2億円程度が必要で、菅波代表はAMDAの資金と国内外での募金



ヤダブ大統領（中）を表敬訪問した菅波代表（左）とレグミ支部長＝カトマンズで15日、AMDA提供